

～がんばる船高生～ **ATTENTION!**

第44回 デュアルコース 菅野吏佑さん



本校の特徴的な教育活動であるデュアル実習は今年度で12年目を迎えました。デュアル実習は本校と田村市、地元企業が連携して生徒を育てる教育制度で、生徒は授業の一環として一年間を通して週に1回、市内の企業や施設で実習を行います。

2月19日にはデュアル実習成果発表会を開催し、2、3年生のデュアル実習生22人が一年間の取り組み内容や成果を発表しました。今回はデュアルコースで学ぶ菅野吏佑さん(3年 大越中出身)に話を聞きました。

※発表会当時は2年生

—デュアルコースを選択した理由は何ですか？

菅野さん 私はもともと高校卒業後すぐに就職したいと考えていました。高校選択の際にパンフレットを見比べたり、体験入学に参加したりした際に、週に一回実際にさまざまな職場で実習することで、一足早く仕事を体験できることが魅力的であると考え、デュアルコースのある船引高校に進学しました。

—昨年度の実習先と主な実習内容は？

菅野さん 2年生は前期と後期で実習先が変わるため、2カ所で実習させていただきました。前期は株式会社ダイユーエイト船引店で商品の品出しや片付け、お客様対応などを行いました。後期は特別養護老人ホーム船引こぶし荘で入所者の食事の補助や後片付けなどを行いました。

—実習を行ったことで何か変化や成長はありましたか？

菅野さん 物事をよく観察して判断できるようになったと感じています。例えばこぶし荘で食事の補助を行う際には食べ物のがどに詰まらないように入所者の方ののどの動きをよく観察することが大事だということです。また、ダイユーエイト船引店ではお客さまの対応を行うこともあったので、自分が対応できる内容かどうかを判断し、自分では対応できないときにはできるだけ早く職場の方をお願いすることを意識するようになりました。このようなことは実際に職場で職員の方に教えていただいたり、さまざまな経験を積んだりしたからこそ身に付いたのだと思います。

—デュアル実習成果発表会はどうでしたか？

菅野さん 1年生の時に発表会を見ていて、先輩方がしっかりと発表の準備をして発表会に臨んでいたと感じました。今年は実習風景の紹介を行いました。スライドを用いて紹介を行いましたが、内容を正確に説明できているかを何度も確認し、大きな声ではっきりと説明することを心掛けました。当日は練習の成果もあり、良い発表ができたと感じています。



◆次のステージに向けて羽ばたく

第71回卒業証書授与式が3月1日に行われ、111人の卒業生が次のステージに向けて巣立っていきました。卒業生を代表して卒業証書を受け取ったのは松崎恵汰さん(移中出身 ※写真)です。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、在校生は代表者のみの参加となりました。在校生代表として和泉華冬さん(船引中出身)による送辞の後、生徒会長を務めた佐藤睦希さん(船引中出身)が、「今後、大きな壁にぶつかったとしてもこの船引高校で得た学び、経験を糧に乗り越えていきたい」と、力強く答辞を述べました。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



Nathanael Shifley
ナサニエル・シャイフリーさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)
田村市に来て3年目

バイサキ インドのお祭り

「バイサキ」は4月にインドで広く祝われる祭りです。その英語名は、地球が太陽の周りを1周したことを意味する「Festival of the Solar New Year」(太陽の新年の祭り)と訳されます。この祭りは、「収穫祭」と「ヒンドゥー教の太陽の新年」と呼ばれる2つの小さい祭りも含まれていて、これらの祭りはバイサキと同時に祝われます。

粉を掛け合います。パレードの間には色水や色粉が当たると幸運になると信じられています。このパレードはほぼ一日中行われます。

私のインドの友人は、パレードの間によく水風船に色水を入れて、人々を濡らすために投げつけていました。水風船はバイサキの伝統的な風習ではありませんが、多くの子どもたちが楽しむために水風船が使われています。その結果、パレード中にあちらこちらで水風船の投げ合いが始まります。

パレードが終わると、人々はガンジス川に行つて体を洗います。ガンジス川で身を清めると幸運が訪れると信じられています。また、パレード中におつけられた水風船の色水を洗い落とすのにも役立ちます。多くの人々は友人たちに幸運が訪れるようにと体を持ち上げてガンジス川に投げ入れます。これもパレードの伝統ではありませんが、多くの人々がそれを楽しんでいます。

あなたがバイサキのお祭りに初めて参加することがあれば、友人たちはあなたを迷わすことなく川に投げ込むことでしょう。私が初めてバイサキのパレード



に参加した時、友人たちに川に投げ込まれ、水がとても冷たかったことを記憶しています。バイサキは夏に祝われる素晴らしい祭りです。パレードの間は色水が冷やしてくれず、その後はガンジス川の氷のように冷たい水に入ることができません。インドを訪れることがあれば、バイサキのパレードを見ることをお勧めします。色彩や音楽はすべてとても美しく、見ていて楽しいです。念のため、簡単に洗える服装にすることを忘れないでください。あなたのすてきな服から色水を洗い落とすのはとても大変です。

田村市消費生活センター

事業者との契約や製品トラブルなど、消費生活に関するご相談に対応いたします。ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。電話と来所でご相談を受け付けています。

【受付】 午前9時～午後4時
(月～金、土日祝日を除く)

【電話】 0247-61-5009

【場所】 市民部 生活環境課内

たむら市政だより広告(有料)募集中

- 掲載位置 表紙・裏表紙を除く各ページの最下段
- 申込方法 所定の申込書に広告原稿を添えて提出
- 規格 1号広告…縦45.5mm×横170mm
2号広告…縦45.5mm×横82.5mm
- 広告料 1号広告…20,000円(1回)
2号広告…10,000円(1回)
- 締め切り 各号発行日(毎月1日)の20日前まで
- その他 詳しくは、経営戦略室 ☎81-2117へ